

令和5年9月10日(日)
第33回 信行寺仏教講座



善導大師

矜哀定散与逆悪
光明名号顕因縁

『観経』が注目され、
中国の著名な学僧(諸師)たちが
様々に解釈していた

当時の諸師の中で**ただ独り**、
釈尊が『観経』をお説きになっ
た**真意を明らかにされた。**



こ こん かいじょう
古今楷定

善導独明仏正意

観経 悪人であっても、
念仏すれば浄土に往生できる。

諸師1: 凡夫でさえ行けるのだから、
程度が低い浄土なのだろう。

諸師2: すぐには往生できない。
遠い未来の話だろう。



善導大師

善人も悪人も
念仏すれば、
命を終えると
**すみやかに
勝れた浄土に
往生できる**

書き下し
定散と逆悪とを矜哀して、
光明・名号の因縁を顕す。

95 94
光明名号顕因縁
矜哀定散与逆悪

現代語訳
善悪のすべての人を哀れん
で、光明と名号が縁となり
因となってお救いくださる
と示された。

深くあわれむ
(仏の慈悲の心)

何を?

定散
の人

逆悪
の人

矜哀定散与逆悪
(誰が救いの目当てか)

『観経』に
説かれる

定散 の人

定善 心を集中させて、
阿弥陀仏や浄土を観る

散善 心が散り乱れた状態で
悪を止めて善を修する

↓

自力で善を積み重ねる人

逆悪 の人

人倫や仏道に逆らう5つの重罪

五逆 ①殺父 ②殺母 ③殺阿羅漢
④出仏身血 ⑤破和合僧

身・口・意(心)による10の悪

十悪 (身)①殺生 ②偷盗 ③邪淫
(口)④妄語 ⑤綺語
⑥悪口 ⑦兩舌
(意)⑧慳貪 ⑨瞋恚 ⑩邪見

矜哀

深くあわれむ
=慈悲の心

善人 悪人

定善 **散善** **与(と)** **五逆** **十悪**
and

自力で善を積む
→ 仏の願いに
気づかない

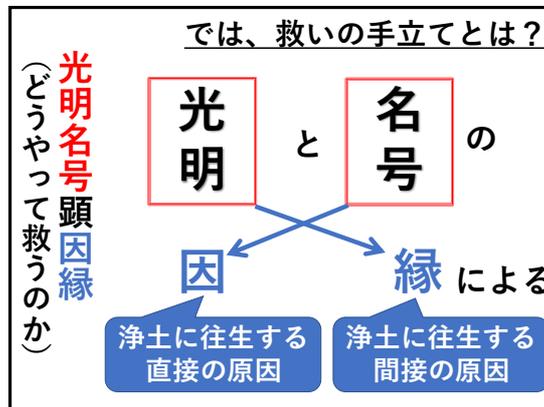
散善もできない
→ 悪にひがんで
仏を見失う

善人・悪人に救いの手を差し伸べる

お釈迦様が弟子の周利槃特(しゅりはんどく)に語った言葉

自分が愚かであることに気づいている人こそ、本当の愚か者なのです。

愚かであるのに自分は賢いと思っている人こそ、本当の愚か者なのです。



光明

正信偈
第11~16句

・十二光

普放無量无边光 無礙無对光炎王
清浄歓喜智慧光 不断難思無称光
超日月光照塵刹 一切群生蒙光照

・撮め取って捨てない

観経 一々光明遍照十方世界
念仏衆生攝取不捨

『浄土和讃』 弥陀経讃

十方微塵世界の
念仏の衆生をみそなはし
攝取して捨てざれば
阿弥陀となづけたてまつる

左訓 ←

「撮めとる。
ひとたびとりて
永く捨てぬなり。
撮はもの逃ぐるを
追はへとるなり。
撮はをさめとる、
取は迎えとる」

(註184頁)

光明

・十一光

わたしたちを
浄土へ導き取る
原因のひとつ

炎王
無称光
照

い

一々光明遍照十方世界
念仏衆生攝取不捨

六字名号

名号

(仏より与えられ)

- ・聞く
- ・称える
- ・信心となる

南無阿弥陀仏

六字名号

名号

わたしたちが
浄土へ生まれる
直接の原因

南無阿弥陀仏

例えば…

因 + 縁 → 果

(直接の原因) (間接の原因) (結果)

聞く
称える
信心

名号

与える

光明

包み・育て
迎え取る

阿弥陀仏の
浄土

因 + 縁 → 果

阿弥陀仏の救い

聞く
称える
信心

- ・(仏)…私に**名号**を与える
= 浄土へ生まれる
種となる(因)
- ・(仏)…私を**光明**で照らす
= 無条件で包み、念仏する者へ育て
浄土に迎え取る(縁)
→私たちを浄土へと導く

矜哀定散与逆悪
光明名号顕因縁

現代語訳

善悪のすべての人を哀れんで、
光明と名号が縁となり因となっ
てお救いくださると示された。



私の全人格を包み込み、浄土の
悟りへと導くはたらき。それが
「南無阿弥陀仏」